

第516回 天下の奇祭

岳の幟

別所温泉地区に伝わる珍しい雨乞いのお祭り。 国選択無形民俗文化財
塩田地方は昔から水不足で大変悩まされていた。

永正元年1504年、大干ばつで困り果てた村人は村にそびえたつ夫神岳の山の神様に
雨乞いの祈願をしたところ・・・突然に、雨が降り出して三日三晩降り続けました。
恵みの水は瀕死に迫る植物・動物万物の生命を救い人々へ生きる力を与えました。

感謝の念を抱いた村人達は夫神岳山頂に祠（ほこら）を建て、九頭竜神 **霧籠**（おかみ）
をおまつりして各家で織った布を奉納し、感謝と祈願をしたのが始まりとされています。

現在は別所温泉の4地区（自治会）が毎年交替で反物と竹竿を担いで夫神岳山頂にの
ぼり、**霧籠**（おかみ）に布とお酒を供え、郷中の安全・無病息災・五穀豊穰を祈る。

今年の祭事執行は

第516回目（515年前発祥） **令和元年7月14日（日）**です。

神官は別所温泉住民が継承し、516人目を上手自治会長が務めます。

